



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 ムーンバット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8115 URL <https://www.moonbat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 鎌田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山本 聡

TEL 075-361-0381

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,778	13.0	440	438.9	475	183.0	419	183.7
2023年3月期第2四半期	5,115	27.0	81		167		147	113.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 428百万円 (216.5%) 2023年3月期第2四半期 135百万円 (94.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	91.67	
2023年3月期第2四半期	31.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	10,300	4,929	47.9	1,078.66
2023年3月期	10,330	4,555	44.1	987.73

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,929百万円 2023年3月期 4,555百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		6.00	6.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	7.5	300	163.1	350	98.4	300	113.4	65.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	4,774,719 株	2023年3月期	4,774,719 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	204,332 株	2023年3月期	162,407 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	4,579,442 株	2023年3月期2Q	4,730,928 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の上昇、為替相場の円安の進行及び物価の上昇等様々な不確実性はあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響が、5類感染症への移行後、更に緩和される中で、経済活動・消費動向の正常化・平常化が進み、回復基調にあります。

服飾雑貨業界におきましても、継続的な原材料価格の上昇に加え円安の進行による仕入価格の上昇はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響の収束により人流が回復し、個人消費が堅調に推移したことから、百貨店・量販店等各販路の販売は好調に推移し、市況は回復傾向にあります。

こうした状況の下、当社グループにおいては、人流の回復に伴い各商業施設の集客が増加し、また、天候にも恵まれたことから、季節商材を中心に各販路における販売が好調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。継続的な原材料価格の上昇に加え円安の進行による仕入価格の上昇はあったものの、各販路に対する最適な商品配置による効率的な仕入販売に加え、商品価格の一部見直し、プロパー販売の促進等により、売上総利益及び売上総利益率ともに前年同四半期を大幅に上回りました。

当期が最終年度となる第1次中期経営計画に基づく経営方針より、引き続き成長領域である専門店・量販店等の販路拡大、Eコマース事業及び直営店事業である「+moonbat」（プラスムーンバット）等の小売事業の強化を推進し、継続的な新規商品の仕入の抑制による在庫圧縮、構造改革による販売管理費等の適正化に努めた結果、損益面も売上増加に伴う販売関連経費の増加を吸収し計画を大幅に上回りました。

その結果、連結売上高は57億78百万円（前年同四半期比13.0%増）、連結営業利益は4億40百万円（前年同四半期比438.9%増）、連結経常利益は4億75百万円（前年同四半期比183.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億19百万円（前年同四半期比183.7%増）となりました。また、商品、原材料を含めた在庫につきましても前年同四半期比4億47百万円減少しました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①衣服装飾品

衣服装飾品（毛皮・宝飾品部門）につきましては、富裕層のレジャー消費等の活発化により当社商品の引き合いが減少し、猛暑の影響から、秋冬物の納入・販売の多くが、10月以降となったこともあり、毛皮リフォーム・リメイク等のサステナブルな提案に注力したものの、売上高は前年同四半期を下回り、また、円安等による売上原価の上昇もあったことから、セグメント損失も前年同四半期を下回りました。

以上の結果、衣服装飾品の売上高は2億21百万円（前年同四半期比5.3%減）、セグメント損失は54百万円（前年同四半期比26百万円のセグメント損失）となりました。

#### ②身回り品

身回り品（洋傘・洋品・帽子部門）につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響の収束による人流の回復に伴い各商業施設の集客が増加し、また、天候にも恵まれたことから、季節商材を中心に各販路における販売が好調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。商品価格の一部見直し、プロパー販売の促進等の販売施策を推進することにより、継続的な原材料価格の上昇及び円安の進行による仕入価格の上昇も吸収し、セグメント利益も前年同四半期を大幅に上回りました。

洋傘部門につきましては、商業施設の集客の増加に伴い、雨傘を含めたレイングッズの展開、販売が好調に推移しました。また、猛暑の影響によりパラソルマーケットが活況を呈したことから、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

洋品部門につきましては、コロナ禍による売場等の縮小の影響は依然残るものの、消費者ニーズ、マーケット環境を考慮したサステナブルな提案等に注力した結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

帽子部門につきましては、商業施設の集客が増加したことや気温が高めに推移したこともあり、各販路において販売が好調に推移し、一部ブランド品の人気も維持していることから、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、身回り品の売上高は55億57百万円（前年同四半期比13.9%増）、セグメント利益は、5億98百万円（前年同四半期比183.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ30百万円減少して103億円となりました。この主な要因は、現金及び預金が12億5百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が8億34百万円減少したこと、返品資産が2億48百万円減少したこと、商品及び製品が1億60百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ4億5百万円減少して53億70百万円となりました。この主な要因は、返金負債が4億3百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ3億74百万円増加して49億29百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を4億19百万円計上したこと、及び剰余金の配当を27百万円実施したこと等によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、税金等調整前四半期純利益の増加、売上債権の減少等により、前連結会計年度末と比べ12億5百万円増加（前年同四半期は6億23百万円増加）して20億96百万円（前年同四半期比63.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、13億71百万円の収入（前年同四半期は11億76百万円の収入）となりました。これは主に売上債権が8億53百万円減少（前年同四半期は7億37百万円の減少）したこと、及び税金等調整前四半期純利益を4億75百万円計上（前年同四半期は1億78百万円計上）したこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、16百万円の支出（前年同四半期は60百万円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が44百万円（前年同四半期は0百万円の支出）となりましたこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億64百万円の支出（前年同四半期は6億30百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が66百万円（前年同四半期は24百万円の支出）となりしたこと、及びリース債務の返済による支出が43百万円（前年同四半期は46百万円の支出）となりましたこと等によるものであります。

## (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2023年8月10日公表の業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	891,399	2,096,902
受取手形及び売掛金	2,156,732	1,322,100
商品及び製品	2,714,401	2,553,684
仕掛品	5,601	2,761
原材料及び貯蔵品	72,788	49,522
返品資産	657,953	409,706
その他	158,637	210,979
貸倒引当金	△14,000	△12,000
流動資産合計	6,643,514	6,633,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	841,906	842,876
土地	1,677,738	1,677,738
その他(純額)	88,608	77,926
有形固定資産合計	2,608,253	2,598,540
無形固定資産	295,314	300,180
投資その他の資産		
その他	812,035	795,861
貸倒引当金	△28,201	△28,201
投資その他の資産合計	783,834	767,659
固定資産合計	3,687,402	3,666,381
資産合計	10,330,917	10,300,038
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	580,520	587,959
電子記録債務	141,573	238,322
短期借入金	2,700,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	78,286	23,268
未払法人税等	54,730	69,847
賞与引当金	62,014	75,697
返金負債	1,035,099	631,830
その他	492,135	439,442
流動負債合計	5,144,360	4,766,367
固定負債		
長期借入金	169,673	158,039
退職給付に係る負債	312,169	314,691
その他	148,992	131,051
固定負債合計	630,834	603,781
負債合計	5,775,195	5,370,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	2,856,206	2,856,206
利益剰余金	665,490	1,057,592
自己株式	△77,271	△103,922
株主資本合計	4,444,425	4,809,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,526	57,961
繰延ヘッジ損益	8,829	—
為替換算調整勘定	37,573	53,259
退職給付に係る調整累計額	10,366	8,791
その他の包括利益累計額合計	111,295	120,012
純資産合計	4,555,721	4,929,889
負債純資産合計	10,330,917	10,300,038

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,115,239	5,778,907
売上原価	3,240,141	3,364,286
売上総利益	1,875,098	2,414,620
販売費及び一般管理費	1,793,298	1,973,770
営業利益	81,800	440,849
営業外収益		
受取利息	208	1,110
受取配当金	2,233	1,768
為替差益	74,712	25,732
不動産賃貸料	23,974	23,720
助成金収入	5,474	—
その他	3,698	3,217
営業外収益合計	110,302	55,549
営業外費用		
支払利息	10,244	8,023
不動産賃貸原価	11,736	12,038
その他	2,140	917
営業外費用合計	24,120	20,979
経常利益	167,981	475,420
特別利益		
投資有価証券売却益	10,352	—
特別利益合計	10,352	—
税金等調整前四半期純利益	178,334	475,420
法人税、住民税及び事業税	21,576	49,808
法人税等調整額	8,811	5,836
法人税等合計	30,388	55,644
四半期純利益	147,946	419,775
(内訳)		
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	147,946	419,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,653	3,434
繰延ヘッジ損益	△21,323	△8,829
為替換算調整勘定	19,771	15,685
退職給付に係る調整額	△1,361	△1,574
その他の包括利益合計	△12,566	8,716
四半期包括利益	135,379	428,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,379	428,492
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	178,334	475,420
減価償却費	76,509	75,689
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△751	770
賞与引当金の増減額 (△は減少)	27,386	13,682
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,000	△2,000
受取利息及び受取配当金	△2,442	△2,878
支払利息	10,244	8,023
受取賃貸料	△24,011	△23,720
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10,352	—
売上債権の増減額 (△は増加)	737,654	853,498
棚卸資産の増減額 (△は増加)	360,273	187,326
返品資産の増減額 (△は増加)	249,303	248,246
前渡金の増減額 (△は増加)	△38,041	△32,288
未収入金の増減額 (△は増加)	△877	△36,533
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,612	85,231
未払金の増減額 (△は減少)	△8,608	22,607
前受金の増減額 (△は減少)	△15,686	△724
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,284	△67,800
返金負債の増減額 (△は減少)	△313,265	△403,269
その他	10,629	4,951
小計	1,210,967	1,406,233
利息及び配当金の受取額	2,426	2,878
利息の支払額	△9,425	△8,228
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△27,265	△28,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,176,703	1,371,896
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△2,780	△2,903
投資有価証券の売却による収入	31,854	—
有形固定資産の取得による支出	△461	△44,151
投資不動産の賃貸による収入	24,049	23,899
その他	7,455	7,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,116	△16,113
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500,000	—
長期借入金の返済による支出	△24,966	△66,652
自己株式の取得による支出	△44,552	△26,707
配当金の支払額	△14,099	△27,429
リース債務の返済による支出	△46,449	△43,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△630,067	△164,682
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,291	14,403
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	623,044	1,205,503
現金及び現金同等物の期首残高	657,753	891,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,280,797	2,096,902

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	衣服装飾品	身回り品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	233,941	4,881,298	5,115,239	—	5,115,239
計	233,941	4,881,298	5,115,239	—	5,115,239
セグメント利益又は損失(△)	△26,096	211,153	185,057	△103,256	81,800

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△103,256千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	衣服装飾品	身回り品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	221,451	5,557,455	5,778,907	—	5,778,907
計	221,451	5,557,455	5,778,907	—	5,778,907
セグメント利益又は損失(△)	△54,893	598,676	543,782	△102,932	440,849

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△102,932千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。